

まちづくりは「格」必要

静岡県掛川市の前市長 榎村さん講演



村格・都市格の必要性を説いた榎村氏

NPO法人日本都市計画家協会北海道支部主催の講演会が二十五日、室蘭プリンスホテル(中央町)で開かれ、生涯学習都市宣言やスローライフ運動で知られる静岡県掛川市の市長を二〇〇五年まで務めた榎村純一氏が、「生涯学習まちづくりは村格・都市格へ」と題し中小都市のまちづくりについて語った。

(東野純也)

都市計画家協会北海道支部

室蘭で総会

同支部総会の記念講演と語った。

として聞かれた。榎村氏 さらに中小都市のまち

は生涯学習について「住みづかりでは、人格と同じ

んでいるまちを長く持つような村格・都市格を持

つ、そこに住む自分たちの人生を充実させようと

その指標として歴史や自

己の個性を説明した。然、食、健康、女性の活

か、便利、効率を追求すを高めることが大事」と

その関係性を説明した。それぞ

れ、スローライフの

の自治体、村格・都

市格といえる特別の魅力

2007年5月28日 北海道新聞室蘭版(夕刊)

誇り持てる都市を

首長のリーダー性強調



日本社会の改善に向けた都市の役割などを指摘する榎村氏

NPO法人日本都市計 体関係者ら約六十人が来 画家協会北海道支部(小場)した。榎村氏は「生涯 九年度総会記念講演会が 学尚まちづくりは村格・ 二十五日、室蘭市中央町 演。敗戦の反動で生まれ の室蘭プリンスホテルで 便利や安いなどを求め る商売やまちづくりの推 市長の榎村純一氏が、こ 共投資などに伴つ八百兆 円余の債務、いじめや汚 職などを振返り、「社会 のきずなや制度の真 退平和ほげなどの結果と 指摘する。

「誇りを持てる都市を 目指す中小都市がスロー ライフや緑化、銀徳で 都市格を樹立し、健康長 寿と循環型社会を築けは 日本は美しい国となるた ろつ。首長は大罪者存在 コーディネーターとして しっかりリーダーさへき」と 力を込めた。

掛川市長 室蘭で講演

2007年5月26日 室蘭民報(夕刊)